

# 横浜市立権太坂小学校 校内研究の特色

## 1. 「めざす子どもの姿と教師の支援の在り方」を具体的に想定する。

### 【理科】

#### ＜めざす子どもの姿（大きなテーマ）＞

○対話的な学習を通して、問題解決の楽しさを味わい、自然事象への興味と関心を広げ、積極的に学び続けることができる子ども

理科学習において、本校がめざすこどもの姿

#### ＜場面ごとのめざす子どもの姿（一部）＞

一実験の学習の流れの場面	めざす子どもの姿	教師側の支援の在り方や視点
①問題づくり	体験活動を通して、子ども自身が生活経験や既習事項をもとに主体的に問題を見出している。	子ども達が主体性をもって問題を作り出せるように意図的な支援ができたか
②予想する	1 自分の生活経験や既習事項を根拠にして、問題に対する自分の考えをもっている。 2 友達にも伝わるように、言葉やイメージ図を用いて自分の考えを表現している。	子どもたちが根拠をもって予想できるように意図的な支援ができたか

6つの場面（問題把握、予想、実験・観察、結果の記録、結果の共有、考察）でめざす子どもの姿を想定する。

場面ごとに、より具体的なめざす子どもの姿を想定する。授業研はもちろん、単元ごとにこれらを設定して授業をする。

教師の支援が適切であったかを判断するための視点。授業研究会では、ここを中心に話し合う。

### 【生活科】

#### ＜めざす子どもの姿（大きなテーマ）＞

- 対象に対して、自分なりのこだわりや考えをもって、何度も繰り返しかかわろうとする子ども
- 活動や体験の中での気づきを言葉、絵、動作などで表現したり、対話的活動を通して考えたりしながら、身近な人々、社会、自然と進んでかかわろうとする子ども
- 活動や体験を通して、自分の成長や、自分のよさ、可能性に気付くことができる子ども

生活科学習において、本校がめざすこどもの姿

#### ＜場面ごとのめざす子どもの姿（一部）＞

学習過程	めざす子どもの姿	教師側から見ると
出会う	1 興味や関心を持ち、対象（身近な人々、社会、自然）とふれあうことができる。 2 友達と仲良く活動したり助け合ったりすることができる。	活動の見通しを持ち、自分のやりたいことを決めることができるような支援ができたか。
かかわる	1 対象（身近な人々、社会、自然）に進んでかかわることができる。 2 自分なりの思いや願いを持ち、実現しようとするすることができる。 3 体全体や諸感覚を使って対象にかかわる活動を通して、気づきを高めることができる。	めあてに沿った活動ができるような支援ができたか。

3つの場面（出会う、かかわる、広げ深める）でめざす子どもの姿を想定する。

## 2. 場面別の「めざす子どもの姿を引き出すための手立て一覧表」

### 【理科】※一部

学習の場面	教師の具体的な支援
① 問題把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な指導、既習事項をいかす授業、準備をしっかりとすることで、<u>子どもたちの主体的な問題づくりや問題に対する積極的な態度を引き出すことができる。</u></li> <li>・子どもたちの発達段階に応じてグループ分けし、めあてを明確にしたことで、<u>子どもたちは自分なりの課題をもち、解決しようとする姿を引き出すことができる。</u></li> </ul>
② 予想する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想の段階で実物を操作できるようにすることで、<u>自信をもって発言していこうとする子どもの姿を引き出すことができる。</u></li> <li>・教師が子どもの絵を分かりやすく書き直してあげることで、<u>図や絵で表現していこうとする子どもの姿を引き出すことができる。</u></li> </ul>

授業研究会で教師の支援について議論し、得られた成果を「手立て一覧集」としてまとめ、2年間の成果を蓄積してきた。

### 【生活科】※一部

学習過程	教師の具体的な支援
出会う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識の例示や人的環境の整備、ワクワクするような掲示を工夫していくと、子どもは<u>自分なりの課題をもち解決しようとする姿を引き出すことができる。</u></li> <li>・実物を目の前にして活動を進めることで、自分で気づいたことを伝えあい、<u>興味や関心をもって生き物にふれ合おうとする姿を引き出すことができる。</u></li> </ul>
かかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの活動が終わったらすぐに伝え合う場を設けることで、<u>子どもが課題に進んで話し合う姿を引き出すことができる。</u></li> <li>・引き出したい表現を明確にもって評価していくことで、<u>子どもは表現方法を工夫したり話す順序を考えたりしながら自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝える姿を引き出すことができる。</u></li> </ul>

## 3. 授業研究会速報「みずみずしい速報」の発行

支援の成果、課題、講師の先生からの助言等を記載し授業研究会の次の日に発行。まさに「みずみずしい」

得られた成果

### みずみずしい速報

「謎の水溶液の正体を解き明かそう！～水溶液の性質～」 6年2組 指導者 ○○ ○○

教師が、**実験結果の見通しをもたせたり、実験の視点を明確にした結果記録表を作成したりすることで、子どもたちが実験に対して明確な目的意識をもち、実験結果を根拠として推論し、自分の考えを表現することができた。**

#### ① 成果

- ・実験器具の準備を事前に行っていたことで、子どもたちはすぐに実験に取り組むことができ、実験結果をじっくりと見つめながら自分の考えを表現することができた。

#### ② 課題

- ・自分の考えを話し合う場面で、理科室の前に集めることが分かっているのであれば、実験机は安全面を考えてあらかじめ後ろにしておけばよかった。

# 4. 問題解決学習のサイクルの明確化

【理科】



